



# 若竹の塔

豊田市立竹村小学校 学校だより 1月号 令和4年 1月21日(金) 発行人：近藤僚吾

新年を迎え、冬休みを終えた子どもたちが元気に登校してきました。冬休み中、静まり返っていた学校が活気を取り戻したかのようです。昨年の9月末に緊急事態宣言が解除された後、新型コロナウイルスの感染者数は減少し、落ち着いた状況が続いていましたが、新しいオミクロン株の発生に伴い、再び新型コロナウイルスへの感染が急拡大する事態になりました。愛知県においても、他の感染拡大地域と同様に「まん延防止等重点措置」が適用され、感染防止に向けた重点的な取組が求められています。こうした状況を受け、学校においては今まで継続してきたマスクの着用、換気、三密を避けるといった基本的な対応に力を入れていきます。それに伴い、卒業式を含めた学校行事の内容を変更せざるを得ないことも考えられますので、ご理解ください。よろしくお願いします。

## ① 校長講話 「寅年：自分を成長させる1年にしよう」

学校が再開された1月7日(金)、校長講話を行いました。体育館に全校が集まることができないため、オンラインで実施しました。今年の干支、寅にちなんだ内容を用意しました。講話の導入で子どもたちの関心を高めるため、野生のトラが現在どれほど生息しているか予想させた後、今から100年前の生息数を示しました。現在は4千頭、100年前は十萬頭です。



次にトラを表す漢字について話しました。トラを表す漢字、虎と寅を示し、【今年は寅年】干支の場合は、寅を用いることを確認しました。そして寅は、漢字「演」がもとになっており、「自分を成長させる」という意味があることを伝えて話を締めくくりました。新しく始まった1年が、子どもたちにとって実り多い1年になることを願っています。

## ② 全校で書初め大会を行いました。

1月7日(金)は書初め大会でした。冬休み前の書写の授業や休み中に家で練習した成果を発揮しようと、どの子も真剣そのものでした。教室には必要のない話声はなく、えんぴつや筆で文字を書くときに生じる音が響いていました。お手本の文字に少しでも近づけようと、とめやはねに注意し、ていねいに書かれた文字には、子どもたちの書初め大会にかける思いが表されているようでした。

また、今年度は新しい取組として、地域学校共働本部が書初め展に向けて「展示ボランティア」を募集し、集まっていた保護者の方々に作品を体育館に展示していただきました。14日(金)には、来校した保護者の方々に展示作品を観ていただく機会を設定しました。ボランティアを快く引き受け、活動していただいた方々に心より感謝しています。



【書初めと展示ボランティア】

## ③ お知らせ 「子どもたちの登校時刻について」

子どもたちの登校の様子を見ていると、8時前に校門を通過する通学団があります。8時10分くらいを目安に校門を通過するようにしても、8時30分開始の朝の会には十分に間に合います。通学団会で集合場所からの出発時刻や登校にかかるおおよその時間等を確認し、登校時刻が早くなり過ぎないように指導していきます。先日のPTA役員・理事会で、この件について伝えたところ、子どもたちは、出発時刻や登校中の時間の把握ができないので、班長に腕時計を持たせたらどうかとアイデアを出していただきました。来年度への課題として検討していく予定です。